

人間科学部

I 教育理念と人材育成の目的

我が国において、高齢化の進行及び急速な過疎化に伴う地域の衰退が懸念される。そういった中で、全ての人が持続可能な社会の実現に向けて、健康的で豊かな人生を送るため、食・栄養・保育・学校教育・社会教育分野およびその周縁にあたる分野に関する専門知識・技能を有し、社会の変化に柔軟に適應できる人材の養成が求められている。

これらを踏まえて、本学部では、食と健康、これからを担うこどもの育成と支援、地域社会の発展に向け、現代社会における課題を把握するための専門知識・技能を身につけ、実践的な学びを通して課題解決能力を培い、他者と協働して社会における学びと活動の活性化を図りながら、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成する。

II 教育課程の基本方針

人間科学部の教育課程の基本方針は次のとおりである。

① 4年間の一貫教育

人間科学部では、卒業と同時に国家試験受験資格や教員資格の取得を目的としている。このため、教養科目・専門基礎科目・専門科目を入学から卒業までの4年間で順次、調和の取れた教育課程を編成し、幅広い教養を培い、専門性を高めるための科目を配置している。

② 教養教育の重視

人間科学部では、豊かな人間性、健全な社会性を育み、高度な専門職を養成するため、社会の成り立ちや生活、文化、外国語など幅広く学修できる教養科目を配置している。

③ 学外実習の充実

高度な専門性を身に付けるには、大学で学んだ知識と技術、原理と方法を、実際の現場において実践することが必要である。本学では多くの学外実習施設や指導者と連携し、専門職養成に必要な学外実習の充実を図っている。

④ 進級・卒業要件の厳格化

人間科学部では高度な専門職を養成するため、学年ごとの必要単位・進級や卒業の要件を厳格に定めている。このため、学生は日頃から計画的な学修が必要である。

III 教育課程の構成と概要

上述の目的を達成するために人間科学部の教育課程は(1)教養科目、(2)専門基礎科目、(3)専門科目から構成されている。なお、詳細は各学科の頁で紹介する。